



シチリア

ツーリズムと伝統が見事に調和して共存する場所

イントロダクション

2005年に、ユネスコの指示に従い、シチリアは無形文化遺産リストをまとめました。広く伝わる伝統から生まれた民族的・考古学的遺産のリストで、島全体から集められました。リストには、物語、演劇、詩、芸術、労働、地域の守護聖人を称える祭り、地域伝承、異教徒に起源をもつ古代の儀式に関係した工芸品が含まれています。この島では、定期的に、イースターの伝統、民衆の間に伝わるお祭り、コスチュームの再現といったパフォーマンスが行われ、過去と未来を描き出す野外ステージとなっているのです。地中海の真ん中にあるこの島の文化をたどる素晴らしい旅は、現代に残る豊かな過去へと私たちを案内してくれるタイムトラベルのようです。



オペラ・ディ・プーピとして知られるシチリアの人形劇の劇場は口承文化の素晴らしい一例で、クントと呼ばれる伝統的な一人語りから生まれました。19世紀にシチリアで人気を博し、パレルモとカターニアという家族全員が協力して運営する、2つの流派がありました。



彼らが作りあげた素晴らしい伝統は今日まで残り、オペラ・ディ・プーピは劇場をはじめ、お祭りの期間中は美術館、町や村の広場でも見ることができます。観客は騎士たちの一騎打ちなどが描かれる人形劇の世界を見て童心に戻ります。また、パフォーマンスは昔と変わらず子供も大人も惹かれる動き、闘い、音、アクションを巧みに組み合わせています。



➤ こ数年、トラパニにあるクストナーチ洞窟では、数百人の人々が歴史的な
— 衣装を身に着け、当時の伝統的な仕事を再現したり、羊飼いや職人、機織り機を使う女性、若い赤ちゃんの素朴な日常を演じるキリスト降誕劇が演じられています。

キリストの死を悼み、十字架の道の苦難を追体験するために、数千人のキリスト教徒や旅行者が参加する聖週間に行われるイースターの行進の中には信仰と民間伝承が混在しています。その一例がトラパニのミステリです。楽隊が奏でる厳粛な音楽と共に、旧市街の道を像をかついだ20のグループが進むという吊いの行進です。町の人々がほぼ全員参加するこの行進は、金曜日から土曜日の朝まで続きます。



島のどこにおいても、溶岩で作られたオブジェは伝統的な手仕事を代表する品です。黒い玄武岩はエトナ山周辺の都市部や農村部の風景によく見られるものです。



良質な大理石の採石や加工は、たぐいまれな芸術的価値をもつ建物や教会の建築に欠かせませんでした。トラパニにあるクストナーチやヴァルデリーチェといったエリアや、ラゲーザのコーミゾ、キアラモンテ・グルフィ、ビットーリアといったエリアは、数世紀前にさかのぼる大理石の伝統があり、グリージョ・ベッリエミ、ペルラートとペルラティーノ・ディ・シシリア、ロッソ・アルカモ、ピエトラ・ディ・コーミゾ、ピエトラ・ディ・モディカ等の種類があります。





労働に関する伝統はマッタンツァにまつわる話の中で受け継がれています。マッタンツァとは地中海で行われていたクロマグロの捕獲術のことです。トラパニやシラクサでは、マグロを捕まえるための多くの仕組みが（もう長い間使用されていませんが）今も残っていて、公開されています。



／[○]ンテッレリアの伝統的な石造りの家ダムーシはこの島特有の風景であり、そのイメージや物質文化の特徴でもあります。約900年前にアラブ人が残した華麗な遺産の一例です。



陶磁器はシチリア全土で見られる重要な伝統です。アラブ人の工芸家によってこの島に伝えられ、サント・ステファノ・ディ・カマストラ、マルサラ、パッティ、ブルジョ、シャッカで高品質の作品が作られました。こうした地域では陶磁器産業が地元の経済を支える重要な役割を果たしています。カルタジローネでは、陶磁器は正真正銘の芸術となり、キリスト降誕劇を描く見事なテラコッタが町にあるいくつかの工房で作られています。

島の内陸部に向かうと、エンナでマントを身につけた人々が金曜日の夜に行う松明を使ったとてもドラマチックな行進など、また別の伝統的な聖週間イベントが今も行われています。このエンナの行進では、町の旧市街の細い道を歩きます。





シチリア島のいたるところで、数百人が参加する感動的な行進という形で、今でもキリストの死と復活が語り継がれています。なかでもピエトラペルツィア、レオンフォルテ、カルタニッセッタ、マルサラの行進が有名です。

産業考古学遺跡である硫黄鉱山は、最近、歴史家と好奇心旺盛な旅行者両方の関心を集めています。これはシチリア島の歴史遺産の一つであり、過去を忘れないためにも守らなければならないものです。



8 月の暑さの中、エンナ地方のピアッツァ・アルメリーナのノルマン人のパリオでは、武器がぶつかり合う音を聞き、騎士が闘う光景を見ることができます。この行事では、中世に開催されていたのと同じスリリングな競技会で近隣からあつまった各チームが闘います。





カルタジローネの近くでは、7月と8月15日の夜に、イルミネーションが輝くサンタ・マリア・デル・モンテ大階段を楽しむことができます。17世紀までさかのぼる伝統を守るために、数千のティーライトキャンドルーそれぞれ手作業で作られ色付けされていますが階段に置かれ、ここでしか見られない素晴らしい光景を生み出しています。

➤ のエリア特有の石垣は人間と環境が相互関係を築いた証です。古い起源をも
― つ地域の伝統を活用し伝えているこの国の職人たちを見るとわかります。こ
うした職人たちは納屋や井戸を作り、壁を維持し、邸宅と所有地の間の境目をマ
ークするために必要な原材料を手に入れるために休みなく働きました。結合剤を
使わずに材料を混ぜ、それで石を包み、重力に逆らい悪天候にも耐えられる方法
で積み上げられています。



島には小さな民族美術館や人類学美術館がいくつかあります。このエリアの歴史を伝えるかつて使われていた道具等が所蔵されています。内陸部の農村地域や農家からもしっかりと歴史を感じることができます。自然の中で過ごすシチリア島での休暇の魅力の一つです。



例えば、パラッツォロ・アクレイデ、モディカ、コルレオネ、モンテマッジョーレ・ベルシートにある美術館には、シンプルで日常的に使われていた物や道具等が、大切に保管され、見事に修復されて展示されています。





力ターニアでは2月に守護聖人を称えるお祭りが開催されます。イタリアで最も大切なお祭りの一つです。聖女アガタを称えるこのお祭りの間は、銀の棺に入れられた聖遺物である胸像が台座に移され、伝統的なロープで結ぶ白いチュニック、黒のボンネット、白のハンカチと手袋を身につけた数百人の人々がその後ろを行進します。聖女が載せられた台の後にはキャンドロアと呼ばれる7本の高い木製の円柱が続き、「*siamo devoti, devoti tutti...*」（私たちは皆忠誠を誓います）という祈りが響きます。



暗くて厳しい冬の数カ月を活気づけてくれるのが、シチリア島の伝統的な陽気なカーニバルです。アチレアレ、シャッカ、テルミニイメレゼの道は、山車、音楽、楽しそうな人々で埋め尽くされます。





フェルーカ（メッシーナ海峡を航行する典型的な船）を使ったメカジキの捕獲は現代に受け継がれる単なる伝統ではありません。これは地域経済にとって重要な産業でもあります。

内 陸部の農村風景に特徴的なのが、数世紀にわたってそこに生息しているデュラム小麦です。様々な種類のセモリナ、パスタ、ビスケットを作るために使用される小麦粉はこの小麦から作られます。





シチリア島の伝説や伝統にとって大切な要素が、ブドウの栽培とワイン製造です。長い間、シチリア島のワインは主に他の様々なブドウと混ぜるために使用されていましたが、今日では腕のいいブドウ園や名高いオノロジストのおかげで、イタリアだけでなく海外でも人気を博しています。

8000年前に刺繍という伝統を紹介したのはサラセン人でした。若い女性が年配の女性の助けを借りて作業していました。このとても女性らしい工芸品はパレルモのカルサ地区、ラグーザ、モディカ、さらにマドニエ地区の村々で今も受け継がれています。





マドニエ地区の村々では、ジョストラ・ディ・ヴィンティミリアとして知られる歴史ある伝統的な中世の一騎打ちの再現をジェラーチ・シークロで見ることができます。このイベントは領主の力がとても大きかった日々を私たちに思い起こさせてくれます。ガンジでは、この地域の人々の衣装、伝統、文化を伝えるお祭りサグラ・デッラ・スピガを見ることができます。またペトラリーア・ソッターナでは毎年、昔の結婚式のパレードの他、自然や神の導きに感謝するバッロ・デッラ・コルデッラを見ることができます。



島に最も古くからあり、現在も行われているカーニバルの一つが、メッツォイウズのマエストロ・ディ・カンポカーニバルです。パレルモでイースターの日曜日に開催される古い異教徒の儀式プリッツィーの悪魔の踊りでは喜びと生命のエネルギーの爆発を感じられます。





ハロレルモのイタリアン-アルバニアンの文化が残る村ピアナ・デッリ・アルバネージでは、ギリシャ正教のイースターを祝福します。話し言葉や地元の女性の服装に伝統が残っています。聖枝祭から復活祭にかけて行われます。



荷馬車が最も一般的な輸送手段だった昔の経済共同体では、荷馬車の馭者たちが旅と旅の間に広場に集まり歌のコンテストを開催する習わしがありました。コンテストでは参加者がそれぞれ独自の複雑なメロディーを作り出していました。



パレルモの 聖ロザリア祭は1624年に「サントウツア」の奇跡的な介入のおかげでこの都市がペストから解放されたことを祝うために催されるお祭りです。7月14日から15日にかけての夜に、何万人もの信奉者や見物人が、ヴィットーリオ・エマニュエーレ大通りを進む聖人を乗せた山車に続いて歩きます。この民間伝承と宗教的信仰の融合は、海に向かって立つフォロ・ウンベルト1世をライトアップする伝統的な花火でクライマックスを迎えます。

フォトクレジット

- カバー-プーピ・シシリアーニの人形-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
1ページ-ピアーナ・デッリ・アルパネーニのイースター（パレルモ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
2ページ-プーピ・シシリアーニの人形-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
3ページ-クストナーチ洞窟（トラパニ）-シチリアリージョンアーカイブ、トラパニ
4ページ-トラパニのイースター-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
5ページ-玄武岩詳細-ニコロシ（カターニア）、写真Antonio Ilardo
6ページ-バロック様式の教会（カターニア）-シチリアリージョンアーカイブ
7ページ-スコペッロのマグロ漁ネット（トラパニ）-写真Francesco D'Alleo
8ページ-パンテレリアのダムーソ（トラパニ）-シチリアリージョンアーカイブ、トラパニ
9ページ-カルタジローネの陶磁器で作成されたキリスト生誕の場面-写真Fotografi Associati
10ページ-エンナの聖週間-シチリアリージョンアーカイブ
11ページ-レオンフォルテの聖週間-シチリアリージョンアーカイブ
12ページ-フロリステッラ・グロッタカルダ鉱山公園（エンナ）-シチリアリージョンアーカイブ
13ページ-ノルマン人のパリオ、ピアッツァ・アルメリーナ（エンナ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
14ページ-カルタジローネのイルミネーションで飾られた大階段-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
15ページ-ラゲーザエリアの石垣-写真Giuseppe Leone
16ページ-民族美術館・考古学美術館-シチリアリージョンアーカイブ
17ページ-聖女アガサのお祭り（カターニア）-シチリアリージョンアーカイブ
18ページ-カーニバル、アチレアレ（シラクサ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
19ページ-作業中のフェルーカ漁船、メッシーナ-シチリアリージョンアーカイブ
20ページ-農村の風景-写真Antonio Ilardo
21ページ-ワイン畑、パンテッレリア（トラパニ）-写真Pucci Scafidi
22ページ-刺繍が施されたテーブルクロス-写真Fotografi Associati
23ページ-バッロ・デッラ・カルデッラの踊り、ペトラリーア・ソッターナ（パレルモ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
24ページ-異教徒のお祭り-シチリアリージョンアーカイブ
25ページ-ピアーナ・デッリ・アルパネーニのイースター-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
26ページ-荷馬車の馭者-写真Fotografi Associati
27ページ-聖ロザリア祭（パレルモ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Francesco Italia

テキスト

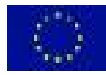
M. Laura Crescimanno

印刷

Officine Grafiche
Soc. Coop.

www.regione.sicilia.it/turismo

欧州連合欧州地域開発基金（ERDF）PO シチリア 2007/13 アクション 3.3.1.Bから資金を得ています。



UNIONE EUROPEA



Regione Siciliana
Assessorato turismo
sport e spettacolo

